

事業番号	09 03 05	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	農業大学校運営事業	部局	農政部	課・室	農業技術課		
		実施期間	T2 ~	E-mail	nogi@pref.nagano.lg.jp		
次期総合5か年計画（答申書）との対応関係							
政策の柱	創造的で強靱な産業を育てる						

### 1 現状と課題

有効求人倍率が1.3倍を超える状況が続き、全産業が人手不足の中、農業分野ではUターン親元就農者（106人/年（2018）→58人/年（2020年））が大幅に減少していることから、Iターン就農者など新たな担い手の確保が必要。農業大学校では県外出身者が増加傾向にあり（16.7%（2018）→34.9%（2022））、卒業生の県内定着率も高いことから（R2卒業生93%）、県農業を支える人材の呼び込み・育成に貢献している。

### 2 事業目的

農業改良助長法に基づき、農業の専門的知識・技術及び人格を備えた農業経営者及び指導者を養成する。

### 3 事業目的を達成するための取組

#### ①県農業を支える人材の確保

人口減少・高齢化の中で県農業を支える人材を育成するため、カリキュラムや学びの環境といった県農大の魅力を幅広くPRすることで県内外の意欲ある学生を呼び込み、県内への定着を図る。

#### ②実践的なカリキュラムの構築による農大生や農業者の指導・育成

農学部では、スマート農業やみどりの食料システム戦略など、情勢を踏まえた実践的なカリキュラムを構築し、農大の魅力向上を図る。研修部では、けん引免許や大型特殊免許といった実践的技術に加え、各種研修を通じて農業者へのスマート農業の普及を図る。

#### ③関係機関と連携を強化した就農支援

先駆的農業者だけでなく、若手の就農者の助言を受ける機会を設けることで、学生の就農意欲の向上や就農計画の具体化を図る。また、農業農村支援センターとの連携を強化し、学卒就農から社会人経験後の就農など、様々な就農の形を広く支援する。

### 4 成果指標

（推移の凡例 ↗：改善 ↘：悪化 →：変化なし —：数値なし）

No.	指標名	単位	R2年度		R3年度		R4年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	見込値	推移				
①	農学部 卒業生県内農業職定着割合	%	97	93	↘	95	↗	95	△	農学部卒業生の県内農業職（就農＋農業関連団体・農業関係企業への就職）への定着割合について、直近の実績に基づいて目標値を設定	
②	研修部 大型特殊免許取得率	%	100	95	↘	95	→	95	△	研修部における農業者の実践的技術の向上を図るため、受講者の多い大型特殊免許の取得率について、直近の実績に基づいて目標値を設定	
③	農学部 卒業生就農率	%	51	53	↗	53	→	67	△	事業の要となる農学部卒業直後の就農率について、農大改革の主要目標である「農学部卒業生の就農率向上」のR5目標値から引用して目標値を設定	

### 5 事業コスト

（単位：千円、人）

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算	合計			
R5年度	(予算案)			0		△	30.0
	(要求)		72,990	72,990			
R4年度	11,176	69,944	7,031	88,151		48,364	30.0
R3年度	0	69,622	12,171	81,793		67,671	30.0

事業名	<b>農業大学校運営事業</b>	部局	農政部	課・室	農業技術課
-----	------------------	----	-----	-----	-------

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
1	<b>農業大学校運営費</b>	49,497 千円	51,481 千円	(予算案) (要求) 49,651 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	農業大学校運営費	直接	総合農学科の学生に対して、より実践的な講義や実習による農業に関する知識と技術の修得教育を実施する。 総合農学科生80名を指導	

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
2	<b>実科・研究科費</b>	7,562 千円	7,416 千円	(予算案) (要求) 9,052 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	実科・研究科費	直接	生産基盤を持つ農家出身者を主体に、農業関係試験場での実習を通じた栽培技術の習得及び就農促進のための教育を実施する。 実科研究科生40名を指導	

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
3	<b>研修部費</b>	9,667 千円	9,727 千円	(予算案) (要求) 11,446 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	研修部費	直接	里親前基礎研修や農業機械技術習得研修を通じた新規就農者の技術力向上のための研修を実施する。 農業機械利用技能基礎研修 10回	

細事業 No.	細事業名	R3年度 当初予算	R4年度 当初予算	R5年度 当初予算
4	<b>農業大学校施設整備費</b>	2,896 千円	1,320 千円	(予算案) (要求) 2,841 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（予定）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	農業大学校施設整備費	直接	オンライン授業用の設備並びに松代のハウス暖房機の整備及び研修部電気設備の修繕を行う。 オンライン授業用設備の整備（実科・研究科のうち2箇所）	